子どもが被害者あるいは加害者となる痛ましい事件、不審者による心ない事件の増加などが、背景となり、学校や地域、また子どもの安全確保のための様々な対策が講じられています。昨年5月からは、秋田市の全小学校に警備員が配置されました。これは全国的にも例がない取り組みで、今年度も引き続き行われています。また、「子どもたちの安全を守る」「桜地区の防犯意識の向上」の目的から、昨年度末からステッカー搭載、腕章携帯の活動も行われています。

毎朝の街頭指導は「子どもたちの安全を自分たちで守ろう」との思いから昭和61年より桜小PTAが一体となって取り組んできた活動です。

教養研修委員会では、これまでの「文化的活動」や「視察研修」から、「防犯意識の向上」や「子どもの安全確保」などに重点を置き、2つの研修会を開きました。11月8日に行われたセミナーでは、地域の方々で多数ご参加いただきました。「CAPあきた」の方々を講師に、子どもたちの安心」「自信」「自由」を自分たちで守るための具体的行動（「いや」「にげる」「特別な叫び声」「話す」など）や、子どもに安心感を与える大人の対応のあり方を研修しました。

地域の方々との交流を深めながら、たくさんの目で見守っていきましょう。